

へ R 「閃光のハサウェイ」

ペーネロペー

機体名	ペーネロペー	画像
型式番号	RX-104FF	
英語名	PENEROPE	
所属	地球連邦軍 キルケー部隊	
パイロット	レーン・エイム	
装甲材質	ガンダリウム合金	
装備	バルカン砲ミサイルランチャー ビームサーベル ビームライフルファンネルミサイル	
特殊装備	ミノフスキー・バリアー	
作品名	機動戦士ガンダム 閃光のハサウェイ	
参考書籍	小説 機動戦士ガンダム閃光のハサウェイ上巻・ 中巻・下巻 G ジェネレーション FANAHEIM ELECTRONICS GUNDAM HISTORY 2002 CALENDAR ホビージャパン 2005.6 ガンダムコ レクション DX6	

内容

■ 内容（小説 & CALENDAR から編集）

地球連邦軍初のミノフスキークラフト搭載機。

ケネス・スレッジ大佐によってアナハイム・エレクトロニクスからキルケー部隊にもたらされ、レーン・エイム中尉が搭乗する。

ガンダムタイプの基本コンセプトを強襲した MS ユニット（RX-104）にフライトユニットを組み合わせた形式がとられている。

武装として頭部バルカン砲、専用ビーム・ライフル、ビーム・サーベル、思念操作が可能なホーミングミサイル、ファンネルミサイルを装備する等、三ガンダムと同等の性能を有する。

なお、RX-104FF とは RX-104 オデュッセウスガンダム に単機能のフライトユニット (Flight-unit) を装着した状態 (Fixed) の FF タイプのことをさす。

■ 内容（G ジェネ F）

連邦軍の試作型 MS。

大出力のミノフスキークラフトを搭載した新鋭 MS。

ミノフスキークラフトを装備するためかなり大形の機体になっている。

大気圏内浮遊能力を持ち、サブフライトシステム無しでも高い機動性を発揮する。

また準サイコミュシステムが搭載されており、ファンネルの使用も可能になっている。

試作機が連邦軍治安部隊「キルケー部隊」に配備され、班地球連邦組織「マフティー」への攻撃に投入された。

■ GFF 箱書き

RX-104FF ペーネロペーは、キルケー隊（旧キンバレー隊）の新司令官ケネス・スレッジ大佐（後に准将）が月面基地で開発を担当していたMSであり、過激化する「マフティー」の掃討を任務とするキンバレー隊の増強のため、テストパイロットのレーン・エイムを伴い配備された。

原型はAEによる「RX-104 オデュッセウスガンダム」であると言われ、フライトユニットを固定装備するFF（Fixed Flight unit）タイプがペーネロペーと呼ばれる。

当時の標準的なサイズよりひとまわり大きい程度の機体でありながら「MS形態のまま」空中戦が可能。

両機（編註：RX-105とRX-104FFのこと）とも重力下では従来型のビット（ファンネル）兵器が使用不能なため、代替武装として高精度のピンポイント攻撃が可能なサイコミュ・ミサイルを装備している。

■ ガンダムコレクション DX6

U.C.0100年代初頭に地球連邦軍がAE（アナハイム・エレクトロニクス）社より調達した第5世代MSで、三ガンダムの兄弟機にあたる機体である。

RX-104 オデュッセウスガンダムにFF（フィックスド・フライト）ユニットを装備した状態をペーネロペーと呼ぶ。

ミノフスキー・クラフト、ビーム・ライフル、ビーム・サーベル、メガ粒子砲、ミサイル・ポッドを始め、ファンネル・ミサイルなど、三ガンダムとほぼ同様の武装を装備しており、飛行時にはフライトフォームにモードを変更する。

連邦軍のキルケー部隊に配備され、レーン・エイムがパイロットを務める。

オーストラリアのアデレードで開催される連邦中央閣僚会議の粉砕を宣言したテロ組織マフティーに対抗すべく、インドネシアのハルマヘラ島沖での戦闘をはじめとして、幾度となく各地で三ガンダムと熾烈な戦闘を繰り広げる。

備考

■ 関連機体

・ オデュッセウスガンダム

スペック

項目	内容
全高	32.5m
頭頂高	26.0m
全長	
本体重量	36.4t
全備重量	112.0t
ジェネレーター出力	4050kw
スラスター推力	168000kg
フライトユニット	肩部ミノフスキーユニット 背部ミノフスキーユニット 脚部ミノフスキーユニット
センサ有効半径	32000m